

ジオパークガイド養成講座2021 8コマ目 受講者回答集

設問3 あなた自身（あるいは三好ジオパーク構想）が、ジオパーク活動を取り組んで何が期待できると思いますか？（何の目的のためにジオパークをやるのでしょうか）

受講者 1

せっかく都市部から移住してきたため、その知識をこの地域に落とし込まないと自分の人生経験・頑張りが無駄になってしまうと思った。ある程度の形づくりは三野町内でできたかと考えるので、今後は営農型太陽光発電に関する千葉大学の調査結果でも全国 3 位に入った三好市の地域性や今後の課題、先駆的取り組みに関する話を交えてガイドを行っていきたい。終局目標は、三好市が全国に認知されるような存在になる事にしたい。

受講者2

私自身が三好について正しく理解し、他者にも興味を持ってもらい正しく理解してもらうことが目的です。

一度行った祖谷周辺について知りたくてプチガイド講座を受講し、文化背景まで知るためには地質についても理解することが必要だと知り、ジオパークガイド養成講座へと続けました。三好市についての知識を得ることは日本について（私にとっては新たな視点である地質目線から）日本を（より深く）知ることにつながりました。まだとぼ口に立ったばかりですので、引き続き精進を続け、アフターコロナには訪日客を中心に三好市を含む日本を正しく理解してもらうこと・興味を持ってもらうことに努める所存です。

受講者3

私は、旧三好郡で生まれた者として、一応この地域の山野河川や生活についての知識はあったと思います。しかし、小中高校での勉強や地域の住人から教わったことでは、いわゆる自然については、生物や気候とか風土の関係が多かったけども、地質や地価の岩盤の内容までは意識していなかったと思います。

それが今回のジオパークの活動では、正に地殻の動きから地質の構成や特徴までも扱っての説明をされており、画期的なことだと思います。だから私達はこの活動の中で、この三好の大地のことを根本的な所から捉えなおして理解することにはなると思います。それから、その大地の上で築かれてきた人々の生活や歴史、文化、風土が理解されていくのだと思います。

そして、その様にして設定された三好ジオパークの内容を、この地域の住民とともに理解して語り、またこの地を訪れる外部の人々へも紹介して、大切に保全して価値を伝えていくことができれば、この三好の地の人々の暮らしが楽しく続いていくことへ寄与できるのだと思います。

受講者 4

この度、三好ジオパーク構想のプチガイド及びジオガイドの研修を受講したのは、2020年2月に全国通訳案内士という英語で海外からの観光客をガイドする国家試験に合格し、どう7月に東京都でガイド登録しましたが、世界的パンデミックスにより日本が鎖国状態である現在、ガイドとしての付加価値を高めるために応募しました。

同時期、30年以上ほぼ毎日運転していた車から、自転車に通勤手段始めとして交通手段を切り替えたことで、アウトドアのアクティビティとしてサイクリングをするようになりました。全国の46のジオパークの地域のほとんどは景観のいいサイクリストにとってはヒルクライムに向いた坂がある山岳地域です。最近本格的なロードバイクを買い、個人的には、西阿波のロードレースの山岳ルートを走ったりして、アウトドアの大好きな富裕層、VIPのお客様へのオプションツアーとして旅行のオプションパッケージを開発したいです。ジオパーク活動と自分のガイド経歴は離せないものですが、自分もともとジオロジーとエコロジーに関心が高く、三好ジオパーク構想を通して動植物、この地域の文化、民話、人々の生活を自分の活動の準備を通して学び、消化し、伝えていけるようにし、現場の人々との繋がりを持って行くことが楽しみです。自分の人生を通して国を超えて生活してきましたし、今からも同じように生きていきますが、様々な場所に行くことによって観光地を超えて、知らない場所から、馴染みのある場所が変わり、そして愛着を持って擬似生活ができる場所が変わり、様々な大切さを知っていきたいと思います。不思議なもので数年前まで日本の中で唯一訪れたことのない四国とこのように深くつながりを持つことのできたのも、三好ジオパーク構想への関わりを通してであったことに感謝いたします。

受講者 5

ジオパーク活動をやって何が期待できますか。つまり、何の目的のためにやるか。ということですが。まずは、地域にある素晴らしいジオサイトなどの地域資源を「ジオパーク活動」をすることによって保全でき、後世へ残すことが出来ることです。そして、そういった素晴らしいジオサイトを地域住民が知ることにより、地域愛が生まれ、ふるさとを誇りに思う心が醸成されると思います。次にこのジオパーク活動は地質や地形などを知ることができ、防災にも役立ちます。ですから、郷土の歴史も含めた学校教育にも大変大切な学習になると思います。また、地域住民の方にも、土砂災害などの防災の知識を深めて頂けるかと思います。またジオサイトの活用により、観光客やリピーターの増加がはかられ移住者の増加も見込めます。三好市の少子高齢化、限界集落が少しでも改善できたり、進行を遅らせることができれば良いのではと思います。そして、ジオパーク活動が一つの起爆剤となり、三好市をあらためて見直すきっかけとなり、若者の定着化や活性化が図られ、賑わいのある町となることを期待したいと思います。

最後に今までは、三好市には何もない、と言っていた人が、ジオパーク活動により三好の良さを知り、どの住民も人に聞かれば、「三好はこんな凄い場所があるんよ！」と自慢できる人が増えれば、これから、ジオパークを活用、残して行くことを「住民、行政、団体」などがいっしょになって考え、活動して行くことができると思います。

受講者 6

三好ジオパーク構想 基本計画書 4P より引用

この地質・地形の特徴，それに影響を受けた生態系，そして「特有の自然環境の中で生まれた歴史文化は三好ジオパーク構想の宝です。三好ジオパーク構想では，これらのつながりを知り，地域資源を守り活用し，そして自然災害を乗り越えながら，これらの宝を将来につなげるための活動を私たち地域みんなを始め，民間団体，行政，研究者が一体となって行います。「この地を誇りに思い，この地で生きぬく」ために，ジオ（大地）をもとにした地域資源のつながりを存分に活用し，三好のジオパーク構想ならではの持続可能な社会を実現します。

昨年もこれを考えました。活動を続けてみて，今年もそう思います。この文章から，その先に，何が見えてくるのかを想像する事も出来るし，反対に何を期待して，ジオパーク構想に取り組むのか，はすでに大前提にあると思います。

この考えは，変わりません。将来につないでいくために・・・10年後，その先も三好が生き残っているために。具体的に何を進めるか・・・何が出来るか，何をしなければいけないかを考えたのも，これを始めたきっかけでは？と思っています。

① 地域の宝を伝えたい，という基本理念に大賛成です。「この地を誇りに思い，この地で生きぬく」ために，ジオ（大地）をもとにした地域資源のつながりを存分に活用し，三好のジオパーク構想ならではの持続可能な社会を実現する。という意識を持って，住民が生きぬいていく素敵なストーリーが浸透している町」を目指すべきだと思っています。「そして，それは，住民の笑顔にある！」というストーリーまで，描き切ることです。

② 自分自身が、この取り組みを少しずつ理解する中で、地域の大地の成り立ち・自然の営み・人が紡いできた歴史のストーリーが大好きになり，誇りを持つまでになりました。人が生きること、この気持ちはとても大事なことです。また，オンラインの8コマ目を受講して，他の地域のガイドの方がされていることをもっと知って，実際に体験してみたら，もっと発想がわいてくると感じました。（会に入った時から，コロナ禍で外出できず）

災害やSDGsの視点にも対応しているので，地元の良さを住民自身が再発見して，心豊かに安心して暮らす→他の地域の人にも認めてくれて，人が大勢来てくれて，プラスアルファの産業の創出，物も少しずつ売れるようになって，雇用の創出，町に地域に賑わいが見られるようになったら言うことなしです。しかし，それぞれが自分の役目を果たし抜いて，得られる結果だと思っています。

住民は自然災害にあってもめげないで、強い意識を持って，生活・地域づくりの中に持続可能な取組を続けています。意識が徹底していて，皆が地域の事をよく知っていることも，強みです。住民がみな発信者になりうることも，通信環境が抜群のこの地ならではの強みと言えます！悩まないで，皆と一緒に進んで成功させたいです。

受講者7

何が期待できるか、三好ジオパーク構想の目的は何か？という問いに対しては三好ジオパーク構想計画にも「三好の大地に根差した暮らしを誇りに思い、生き抜き、未来へ繋ぐことが目的」と記されている。単に今の地域振興策というのではなく、それを越えて未来に繋ぐ手段の一つとして構想し、全住民の学習により誇りを醸成し、全住民と自治体連携による発信・広報で未来へ繋ぐ流れを創り出し、構想を基に振興される地域観光産業が収益を生み出すことが期待されています。

それでは、私自身は何を期待して、何の目的で三好ジオパーク構想に係るのだろうか。私は他県居住者として、直接、三好ジオパーク構想内でジオパーク活動を行うことは難しい。ただ、私の地域でジオツーリズムに関心を持って何かの活動に係ることは出来る。今回の設問の大前提である、「ジオパーク活動を共に行うメンバー」として答える、を「ジオパーク活動を他地域で別個であっても同様な関心を持って行うメンバー」と置き換えて答えると、設問1 と 2 の回答に重なるが、以下となる。

① ジオツーリズムを知り、更に私の地元地域で実践的に学ぶことによって、大地、地形・地質が人の生活や場所の歴史文化に繋がっていることを実感し、私自身の人生の立ち位置を考えることができる。

② 現在関わっている国際親善交流・ガイドのボランティア活動に新しいジオツーリズムの考え方を活用し、地元、神奈川の新しい魅力再発見につなげたい。私たちの活動を通して、外国人の人達に新しい視点から神奈川・日本を紹介し、日本の理解を深めてもらい、日本滞在・訪問を楽しんでもらいたい。

③ 在日・来日外国人に対してのガイドや日本文化紹介活動は、多くの人と話すことが出来、それ自体が充実した時間です。多くの会員とも知り合い、活動を共に楽しむことが出来る。また、私たちの活動はホームページを介して日本・世界にも発信されるので、ジオツーリズム主体ではなくともその一環として世界に伝わる可能性はある。